



榊協和テクノロジー

喜納政紀

私はエンジニアインターン(EIT)を大学卒業直後の1999年10月、プロフェッショナルエンジニア(以下PE)の資格を今年(2004年)の4月、アメリカのオレゴン州で取得しました。アメリカの大学に在学中はこれらの資格(免許)を取得することによってどういったメリットがあるのかよくわかっていなかったように思います。

しかし協和テクノロジーに就職し、技術の仕事をとおして、何人かの世界で活躍するPEと知り合う機会があり、PEとしての義務と責任、また誇りを教わったことから、私もPEライセンス取得の為に真剣に勉強するようになりました。

PEとはアメリカで、1907年に始まった制度で、公共に奉仕する為にエンジニアの能力の客観的評価を目指すものであります。アメリカではこの免許を保持していない技術者は、公共機関、あるいは公共と私企業の顧客に提出する技術文書にサイン、およびシールをする事ができません。したがって、PEを持っていない技術者は、常にPE取得者の管理のもとで仕事をしなければなりません。

PE取得には、一次試験であるファンダメンタル・オブ・エンジニアリング試験(FE試験)と二次試験にあたるプロフェッショナル・エンジニアリング試験(PE試験)と呼ばれるものに分けられます。両方の試験とも、それぞれ8時間という長時間にわたっておこなわれます。

FE試験の問題は基礎的な一般工学及び、大学で学ぶ物理、数学、化学、力学、工学、倫理等、全180問択一式であります。PE試験はより専門的な分野での出題で、問題数、出題方式は専門分野によって異なります。私の場合はそれぞれの試験を受ける際に、半年から3ヶ月ほど、毎日約3時間勉強しました。

PE試験に合格しても、世の中の技術は常に進歩しており、勉強することはまだまだたくさんあります。これからは1人のプロのエンジニアとして、自覚と責任を持って、更に努力していこうと考えています。最後に、会員の皆様のご健康と、ますますのご繁栄を祈願し、合格の報告とさせていただきます。

— 経歴 —

1971年12月21日生

1990年3月沖縄県立具志川高校卒業

1999年6月オレゴン州立大学機械工学科卒業

1999年6月榊協和テクノロジー入社

